

# JA海外債券ファンド

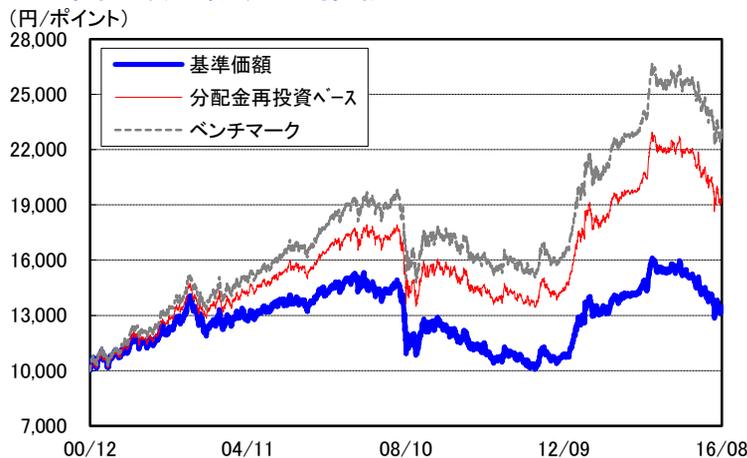
設定日:2000年12月22日 償還日:無期限 決算日:10月16日(休業日の場合は翌営業日)

追加型投信/海外/債券

## ●商品の特色

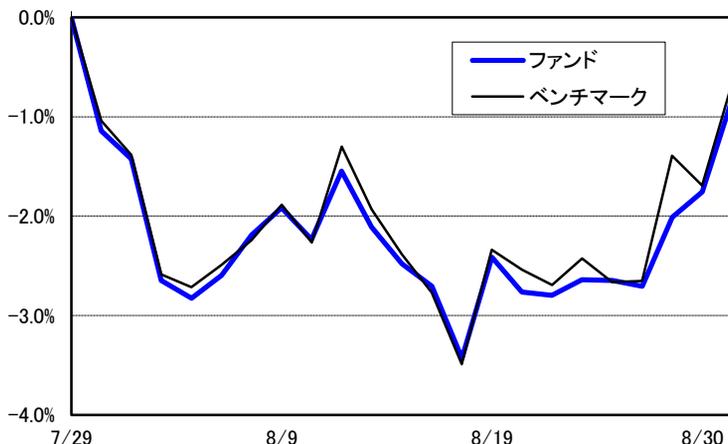
- 当ファンドは、JA海外債券マザーファンドを主要投資対象とし、マザーファンドを通じて、日本を除く世界各国の公社債を中心に投資を行います。
- マザーファンドの運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限を委託します。
- 当社が円ベースに換算したシティ世界国債インデックス(除く日本)をベンチマークとし、ファンダメンタルズ分析と計量分析を併用した手法により運用を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- ポートフォリオ全体の平均格付(保有している有価証券に係る信用格付けを加重平均したもの)は、原則としてA格以上を維持することとします。外貨建資産については、原則として対円為替ヘッジは行いません。

## ●基準価額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したもとして計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。  
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。  
※2 ベンチマークの設定来推移は、設定日を10,000として指数化したものです。  
※3 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ●当月のパフォーマンス推移



## ●設定来の運用実績

	ファンド騰落率 (分配金再投資) (1) (%)	ベンチマーク騰落率 (2) (%)	差異 (1)-(2) (%)
過去1ヵ月	-0.82	-0.65	-0.17
過去3ヵ月	-4.98	-4.63	-0.35
過去6ヵ月	-5.82	-5.19	-0.63
過去1年	-11.31	-10.09	-1.22
過去3年	8.81	12.73	-3.92
設定日来	94.92	130.81	-35.89

※1 ファンド騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。  
また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。  
※2 ファンド騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ●基準価額と純資産総額

年月日	基準価額 (円)	シティ世界国債インデックス (除く日本、当社円換算ベース) (ポイント)	純資産総額 (百万円)	マザーファンド純資産総額 (百万円)
2016/08/31	13,447	105,873.31	285	18,179
2000/12/22 (設定日)	10,000	45,870.69	1	11,048

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。  
※2 設定日の基準価額は設定当初の投資元本です。

## ●直近6期の分配実績

決算年月日	分配金 (課税前) (円)
2015/10/16	270
2014/10/16	310
2013/10/16	300
2012/10/16	240
2011/10/17	220
2010/10/18	250
設定来合計	4,769

※1万口当たりの実績です。

## ●信託財産の構成

ファンド	比率(%)
マザーファンド受益証券	100.5
短期資産等	-0.5
合計	100.0
うち実質外貨建比率	99.7

※1 比率は純資産総額対比です。  
※2 短期資産等には、コール、CD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。

マザーファンド	比率(%)
外国債券	97.5
短期資産等	2.5
合計	100.0

※1 比率は純資産総額対比です。  
※2 短期資産等には、コール、CD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。

# JA海外債券ファンド

追加型投信/海外/債券

## <マザーファンドの運用状況>

### ●国別組入比率とデュレーション

国名	① 組入比率 (%)		② 修正デュレーション(年)		加重デュレーション(①×②)		
	ファンド	ベンチマーク	ファンド	ベンチマーク	ファンド	ベンチマーク	差
米国	37.5	42.9	6.63	6.25	2.49	2.68	-0.19
カナダ	2.2	2.1	7.91	7.42	0.17	0.15	0.02
イギリス	8.5	8.0	12.24	12.54	1.04	1.01	0.03
ユーロ	40.7	40.6	7.66	7.69	3.12	3.12	-0.01
ドイツ	6.5	7.5	8.92	7.71	0.58	0.58	0.00
フランス	10.2	10.1	8.16	8.08	0.83	0.81	0.01
アイルランド	1.0	0.8	5.25	6.18	0.05	0.05	0.00
イタリア	10.3	9.6	6.57	7.17	0.67	0.69	-0.02
オーストリア	1.5	1.6	8.09	7.90	0.12	0.12	-0.00
オランダ	2.3	2.3	7.99	8.27	0.19	0.19	-0.01
スペイン	5.4	5.5	7.21	7.13	0.39	0.39	-0.00
フィンランド	0.9	0.6	5.16	7.02	0.04	0.04	0.00
ベルギー	2.7	2.6	9.00	9.18	0.24	0.24	0.00
その他	-	-	-	-	-	-	-
スイス	0.2	0.2	5.52	4.91	0.01	0.01	-0.00
スウェーデン	0.5	0.5	5.83	6.81	0.03	0.03	-0.00
ポーランド	0.5	0.6	4.45	4.39	0.02	0.03	-0.00
デンマーク	0.8	0.7	7.19	8.64	0.06	0.06	-0.01
ノルウェー	0.5	0.3	2.77	5.44	0.01	0.01	-0.00
オーストラリア	2.3	1.9	5.95	6.35	0.14	0.12	0.02
シンガポール	1.5	0.4	3.06	6.76	0.05	0.03	0.02
マレーシア	-	0.5	-	5.53	-	0.03	-
メキシコ	0.9	0.9	5.49	5.78	0.05	0.05	-0.00
南アフリカ	0.4	0.5	7.25	7.03	0.03	0.03	-0.00
ニュージーランド	1.1	-	3.40	4.46	0.04	-	0.04
債券合計	97.5	100.0	7.41	7.37	-	-	-
その他	2.5	-	-	-	-	-	-
合計	100.0	100.0	-	-	7.21	7.37	-0.16

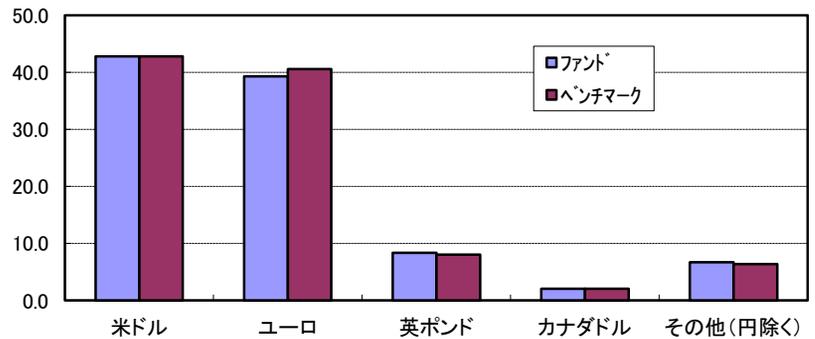
※1 比率は純資産総額対比です。

※2 加重デュレーションは、国別に修正デュレーション×組入比率で算出したものであり、金利エクスポージャーの大きさを表す数値です。

### ●通貨別組入比率

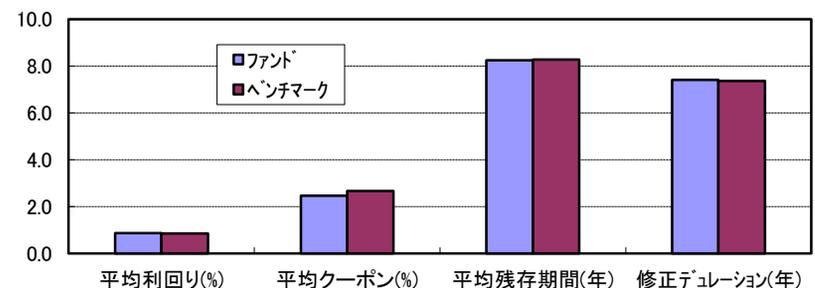
通貨	ファンド (%)	ベンチマーク (%)	差 (%)
米ドル	42.8	42.9	0.0
ユーロ	39.3	40.6	-1.3
英ポンド	8.4	8.0	0.4
カナダドル	2.1	2.1	0.0
その他(円除く)	6.7	6.4	0.3
合計	99.3	100.0	-0.7

※ 比率は純資産総額対比です。



### ●保有債券の属性

	ファンド	ベンチマーク	差
平均利回り(%)	0.86	0.85	0.01
平均クーポン(%)	2.46	2.67	-0.21
平均残存期間(年)	8.25	8.27	-0.02
修正デュレーション(年)	7.41	7.37	0.05



# JA海外債券ファンド

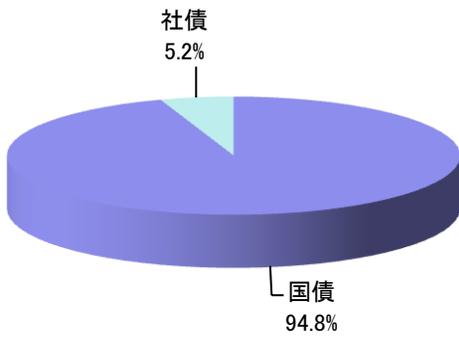
追加型投信/海外/債券

## <マザーファンドの運用状況>

### ●セクター別組入比率

セクター	ファンド(%)
国債	94.8
地方債	-
特殊債	-
社債	5.2
その他有価証券	-
合計	100.0

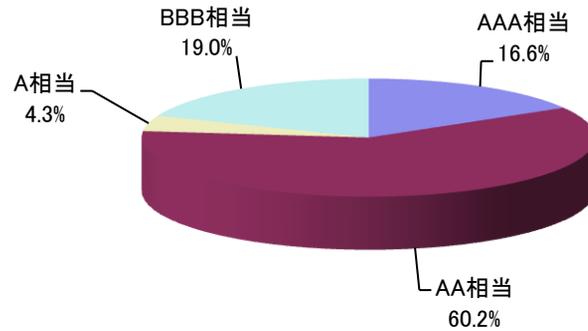
※1 比率は外国債券現物対比です。  
 ※2 特殊債にはGNMA、FHLMC、FNMAが含まれ、その他有価証券には外国貸付債権信託受益証券が含まれます。



### ●格付別組入比率

格付	ファンド(%)
AAA相当	16.6
AA相当	60.2
A相当	4.3
BBB相当	19.0
BB相当以下	-
合計	100.0

※1 比率は外国債券現物対比です。  
 ※2 格付けは、原則としてS&P社、Moody's社のうち低位のものを採用しています。



### ●組入上位15銘柄

順位	銘柄名	国名	通貨	クーポン (%)	償還日	組入比率 (%)	分類
1	T-NOTE 1.375 200430	アメリカ	USDドル	1.375	2020/4/30	7.7	国債
2	T-NOTE 3.125 210515	アメリカ	USDドル	3.125	2021/5/15	3.5	国債
3	T-NOTE 1.5 180831	アメリカ	USDドル	1.500	2018/8/31	3.4	国債
4	T-NOTE 2.125 210815	アメリカ	USDドル	2.125	2021/8/15	2.8	国債
5	OBL 0 200417	ドイツ	ユーロ	0.000	2020/4/17	2.3	国債
6	BTPS 2.5 190501	イタリア	ユーロ	2.500	2019/5/1	2.1	国債
7	T-NOTE 0.75 171231	アメリカ	USDドル	0.750	2017/12/31	2.0	国債
8	T-NOTE 2.0 250815	アメリカ	USDドル	2.000	2025/8/15	1.9	国債
9	T-BOND 3.0 450515	アメリカ	USDドル	3.000	2045/5/15	1.7	国債
10	OAT 2.25 240525	フランス	ユーロ	2.250	2024/5/25	1.7	国債
11	T-BOND 3.625 440215	アメリカ	USDドル	3.625	2044/2/15	1.7	国債
12	T-BOND 4.5 360215	アメリカ	USDドル	4.500	2036/2/15	1.6	国債
13	BUND 1.0 250815	ドイツ	ユーロ	1.000	2025/8/15	1.6	国債
14	BTPS 3.5 300301	イタリア	ユーロ	3.500	2030/3/1	1.5	国債
15	GILT 3.25 440122	イギリス	英ポンド	3.250	2044/1/22	1.5	国債

※ 比率は外国債券現物対比です。

組入銘柄数: 157銘柄



## JA海外債券ファンド

追加型投信／海外／債券

## &lt;運用担当者のコメント&gt;

## ●8月の市場動向と運用状況

## (市場動向)

当月、世界の国債利回りはまちまちでした。イングランド銀行(BOE)の大規模な金融緩和政策の発表を受けて、英国債利回りが最も大きく低下しました。8月、米国債利回りは上昇し特に短期債においてそれが顕著でした。これは、ジャクソンホールでのイエレン米連邦準備制度理事会(FRB)議長やフィッシャーFRB副議長のタカ派な発言を受けて、年内の利上げ観測が高まったことが主な要因です。為替市場では、ジャクソンホールでのイエレンFRB議長やフィッシャーFRB副議長のタカ派な発言を受けて、主要通貨が米ドルに対して下落しました。

■米国では、7月の雇用統計が予想を上回る結果となりました。ISM景況指数は製造業と非製造業がともに予想を下回りましたが、拡大・縮小の分岐点となる50を上回りました。消費に一服感が見られ、小売売上高は予想を下回りましたが、住宅統計の好調は持続し、新築住宅販売が大きく伸びたほか、住宅着工件数も増加しました。

■欧州では、PMI総合指数がサービス業の好調を背景に7カ月ぶりの高水準となるなど、ユーロ圏経済の回復の勢いが増えています。ドイツでは輸出が回復し鋳工業生産が増加しました。しかし、企業景況感は低水準に落ち込みました。英国では、欧州連合(EU)離脱の決定を巡り不透明感が増していることから、7月のPMI総合指数が落ち込みました。

■中国では、PMI総合指数が改善しました。インフレ率は依然として低く、輸出と輸入ともに予想より減少しました。

■金融政策にはばらつきが見られました。オーストラリア準備銀行(RBA)は政策金利を過去最低の1.5%に引き下げ、BOEも過去最低の0.25%に引き下げ、量的緩和の規模を拡大すると発表しました。また、ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は政策金利を過去最低の2%に引き下げました。一方、米国では、FRBがタカ派な姿勢を強めました。イエレンFRB議長がジャクソンホールでの講演において、米国経済はFRBの目標に近づきつつある旨の発言をし、フィッシャーFRB副議長は年内に2回の利上げが実施される可能性を示唆しました。他の中央銀行は概ね金利を据え置きました。

## (ファンド・レビュー)

8月のファンドのパフォーマンスは前月比-0.82%、ベンチマークのパフォーマンスは前月比-0.65%、ファンドのベンチマークに対する相対パフォーマンスは-0.17%となりました。当ファンドが組入れているマザーファンドの8月のパフォーマンス(ドルベース)をベンチマークと基準を揃えて比較すると、ファンドのパフォーマンスは以下の要因から、ベンチマークを上回りました。

■(0)デュレーション戦略は中立となりました。米国を始めとする主要国の利回りが上昇し英国の利回りが低下する環境の中、米国中期債のアンダーウェイトはプラスに寄与しました。一方、不透明な政治状況や世界経済の成長鈍化を受けて、FRBが利上げに対して慎重な姿勢を継続するとの見方に基づいて、米国長期債をオーバーウェイトとしたことはマイナスに寄与しました。

■(0)国別配分戦略の寄与は中立となりました。

■(0)イールドカーブ戦略の寄与は中立となりました。

■(+ )通貨戦略はプラスに寄与しました。北米と欧州・アジアとの間で経済成長の格差が拡大するとの考えに基づき、米ドルをオーバーウェイトとしたことは、ジャクソンホールでのイエレンFRB議長やフィッシャーFRB副議長のタカ派な発言を受けて月末に米ドルが主要通貨に対して上昇したためプラスに寄与しました。

■(+ )信用戦略はプラスに寄与しました。金融緩和政策と良好な需給動向が引き続き社債の下支えとなるとの見方に基づき投資適格社債を組み入れたことは、スプレッドが縮小したためプラスに寄与しました。

## ●基準価額の変動要因分析

	(単位:円)	(単位:%)
	基準価額	月次騰落率
2016年8月31日	13,447	-
2016年7月29日	13,558	-
増減	-111	-0.82
債券要因	42	0.31
キャピタル	17	0.12
うち現物	(17)	(0.12)
うち先物	(-)	(-)
インカム	25	0.19
為替要因	-137	-1.01
小計	-95	-0.70
その他要因	-16	-0.12
要因合計	-111	-0.82

※ 上記の要因分析は、主要項目別に寄与度を概算した参考値です。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

## JA海外債券ファンド

追加型投信／海外／債券

## &lt;運用担当者のコメント&gt;

## ●今後の市場見通しと運用方針

■世界経済は依然として停滞しています。中央銀行が量的金融緩和政策を加速させる一方で、債券の供給量には制約があるため、金融政策の限界が意識されやすい環境にあります。米国の利上げ可能性は高まっていますが、長期的な利上げペースについては見直しを迫られる可能性が高いと思われます。政策当局は経済問題の根本的な解決には追加的な金融緩和政策のみではなく、財政政策と構造改革が必要であることを認識しているように思われます。金融政策から財政政策への移行が重要なテーマとなっており、中央銀行による流動性供給の継続期待に支えられていた資産価格には低下圧力がかかる可能性があります。この他、欧州銀行セクターの不良債権問題が引き続きユーロの下落リスクになると考えられます。

こうした状況の中、ポートフォリオ全体のリスクを注視しつつ、デレージョンを機動的に調整することを検討します。通貨別では、ユーロ、ニュージーランド・ドルに対して米ドルをオーバーウェイトとすることを検討します。

## ■債券:

【北米】米国経済に影響を及ぼす要因としては、米国大統領選挙による先行き不透明感がありますが、FRBが利上げに対して慎重な姿勢を継続するとの見方から、今のところ米国大統領選挙による経済的な影響は限定的であるといえます。消費が米国経済の基盤であることには変わりなく、住宅投資関連の指標は良好な結果が示されていますが、企業の生産・投資活動は鈍化基調が継続しています。一方、FRB高官のタカ派な発言は年内利上げを意識している可能性もありますが、生産性が弱含みで推移していることを考慮すると、FRBは自然利子率が低下しているとみていられると考えられます。こうした環境の中、米国のイールドカーブの平坦化(フラットニング)を想定したポジションを構築することを検討します。

【中国】中国経済は、今後数ヶ月間は安定するとみています。不動産市場とインフラ投資が牽引する現在の国内景気の上昇サイクルは10-12月期まで継続するとみています。不良債権や過剰生産能力の問題を解決するための構造的改革について、さらなる議論がなされていますが、改革の勢いは2018年までは加速しないことが予想されます。

【オーストラリア】RBAによる緩和的な金融政策が長期化するとみられることから、オーストラリアのデレージョンをオーバーウェイトとすることを検討します。

【ユーロ圏】ユーロ圏経済の4-6月(第2四半期)GDP成長率は前期比0.3%増と伸びが鈍化しました(前年同期比では1.6%増)。米国や英国の国内需要が増加傾向にあるのに対し、ユーロ圏の需要はそれより低い水準となっています。現在の財政政策は成長へ向けて舵を切るには不十分であり、先行指標は設備投資が引き続き停滞していることを示しており、世界経済の成長が加速しない限り輸出は低迷するだろうと予想しています。雇用が悪化傾向にあることも懸念材料で、失業率がさらに悪化すれば、経済対策を実施してもユーロ圏の成長は鈍化する可能性が高いとみています。このような環境下、ドイツおよびフランスのデレージョンの長期部分をオーバーウェイトとすることを検討します。

【英国】依然軟調ではあるものの景気後退に陥るほどの水準からは脱しつつあります。BOEの大規模な金融緩和政策により経済指標は回復基調にあり、英国のEU離脱に伴う不透明感は後退しました。こうした状況を受けて、BOEは11月の金融政策委員会(MPC)において追加利下げや量的緩和を実施しない可能性はあるものの、今後数年にかけてさらなる金融緩和政策を講じるとみています。このため、英国のデレージョンを機動的にオーバーウェイトとすることを検討します。

## ■通貨:

【米ドル】FRBは底堅い労働市場や内外金融経済動向の落ち着いた確認しながら、年内にも利上げサイクルを再開する可能性があり、米ドルの見通しについてはやや強気であることから、米ドルをオーバーウェイトとする方針です。

【ユーロ】需給ギャップが依然として大きく、英国だけではなく、欧州全体に政治的リスクが伝播する可能性があることは、EUの妥当性が疑問視されていることを示唆しており、ユーロに対する見通しは弱気です。このためユーロをアンダーウェイトとする方針です。

【英ポンド】英国は経常収支の赤字が大きく、EU離脱以前には主要な資本流入源であった直接投資(FDI)が今後見込みにくくなるため、英ポンドの見通しは弱気です。このため、英ポンドをアンダーウェイトとする方針です。

【スウェーデン・クローナ】インフレ及び賃金に安定化の兆しが見られるため、スウェーデンの中央銀行が欧州中央銀行(ECB)に連動した金融緩和政策を講じる可能性は低いと見ていることから、スウェーデン・クローナをオーバーウェイトとする方針です。

【豪ドル】中国経済の安定化や、利回りを追い求める動きを背景に高利回り通貨が恩恵を受けるとの見通しから、豪ドルをオーバーウェイトとする方針です。

【ニュージーランド・ドル】ニュージーランド国内のインフレ率が低位で推移していることや、RBNZが緩和的な姿勢を継続するとの見方から、ニュージーランド・ドルをアンダーウェイトとする方針です。

## ■信用セクター:

経済や市場、政策の不確実性が高まる局面に入っていることを認識していますが、世界のクレジット市場に対する明るい見通しを維持しています。経済成長に対する明るい見通しは主として米国経済が好調に推移するとの予想に起因します。一方、欧州の信用リスクは高まっており、もはや信用リスクに見合うリターンが得られないと考えています。英国のEU離脱の影響がEU全体に及ぶ可能性が高く、特に欧州の銀行に対してより影響があると考えます。米国の消費セクターは継続する雇用増加や住宅価格の上昇からの恩恵を受けて引き続き堅調です。FRBは慎重なペースで利上げを行い、それがクレジット市場を支えると予想しています。引き続き、米国の投資適格社債を選好し、特に金融セクターを中心とする方針です。

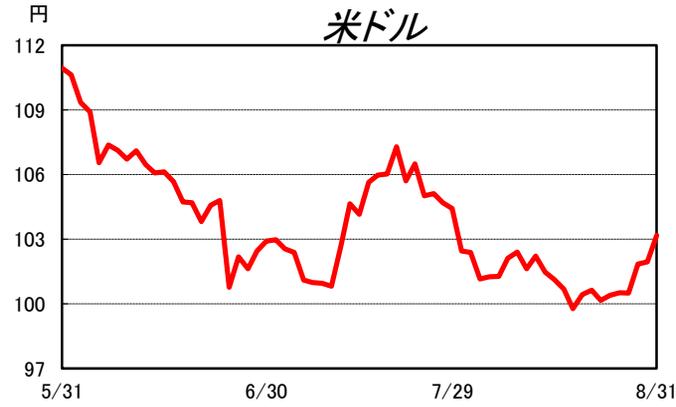
運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエルントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエルントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエルントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

# JA海外債券ファンド

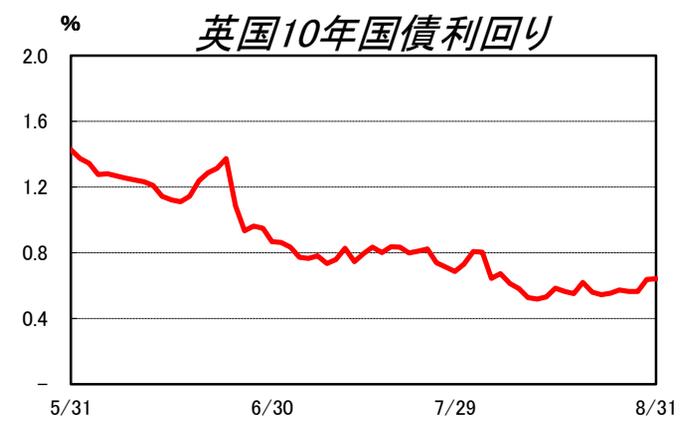
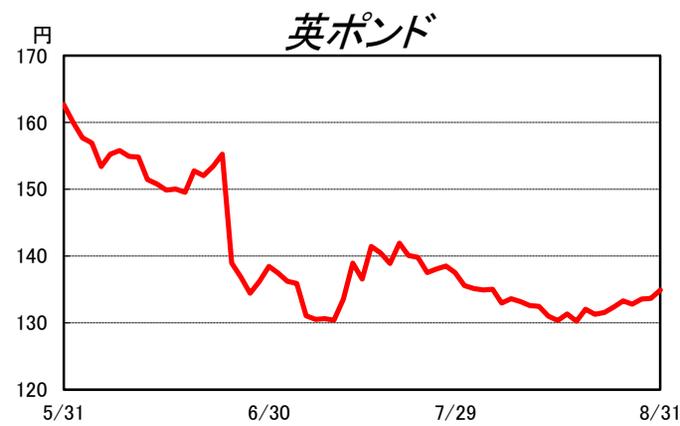
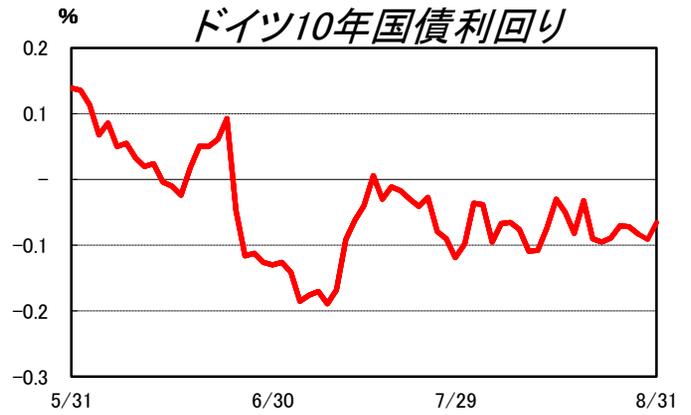
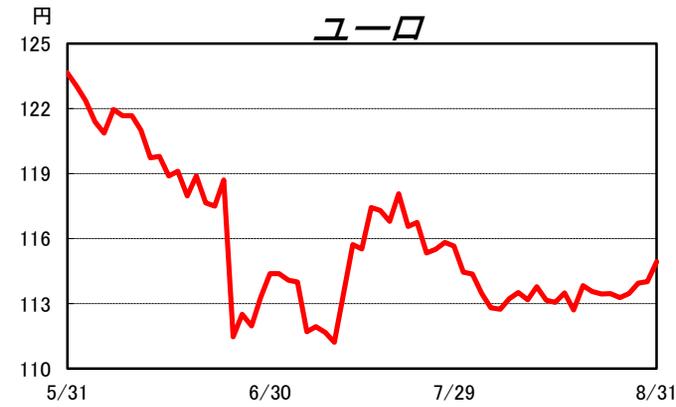
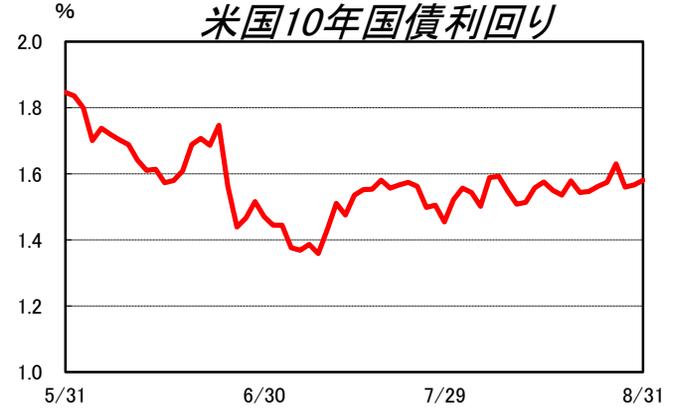
追加型投信／海外／債券

## <参考>市場動向(マーケット指標の推移)

### ○為替相場



### ○債券市場



当ファンドは、公社債などの値動きを生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。従って元金が保証されるものではありません。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくことになります。当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。投資信託は貯金(預金)保険制度の対象ではありません。当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

## JA海外債券ファンド

追加型投信／海外／債券

## ○お申込みメモ

- 購入 いつでもご購入いただけます。  
ただし、ニューヨーク証券取引所の休曜日またはニューヨークの銀行の休業日にはご購入の申込みの受付を行いません。
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込日の翌営業日の基準価額
- 購入時手数料 購入申込日の翌営業日の基準価額に1.62% (税抜1.50%) 以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託設定日 2000年12月22日
- 信託期間 無期限
- 信託報酬 純資産総額に対して年1.296% (税抜1.20%)
- 決算日 毎年10月16日 (休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 原則として実質的な利子・配当収益に相当する収益を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。  
分配金再投資 (累積投資) 専用ファンドですので、収益分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
- 換金 いつでも解約請求によってご換金いただけます。  
ただし、ニューヨーク証券取引所の休曜日またはニューヨークの銀行の休業日にはご換金の申込みの受付を行いません。
- 換金単位 1口単位
- 換金価額 換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 信託財産留保額 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.20%を乗じた額
- 換金代金の支払い 換金代金は原則として換金申込日から起算して5営業日目から支払いを行います。
- 税金 <個人のお客様の場合>
  - ・ 収益分配時の普通分配金については、配当所得として取り扱われ、課税されます。
  - ・ 換金時ならびに償還により交付を受ける金銭等は、譲渡所得とみなし、譲渡益に対し課税されます。
 <法人のお客様の場合>
  - ・ 収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対し課税されます。
 ※ 税制が改正された場合等には、上記の内容が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署などへお問い合わせください。

ニューヨーク証券取引所の休曜日またはニューヨークの銀行の休業日には、購入、換金のお申込みの受付を行いません。金融商品取引所や外国金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、購入、換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入、換金のお申込みを取り消す場合があります。

## ○委託会社、その他の関係法人

- ◆ 委託会社: 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社 (金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第372号 一般社団法人 投資信託協会会員 / 一般社団法人 日本投資顧問協会会員)  
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。  
: ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー (投資顧問会社)  
当ファンドの直接の関係法人ではありませんが、委託会社よりJA海外債券マザーファンドにおける外貨建資産の運用および為替取引の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行います。
- ◆ 受託会社: 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)  
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- ◆ 販売会社: 以下をご覧ください。  
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

販売会社等につきましては、以下の先までお問い合わせください。

- ◆ 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社  
ホームページ: <http://www.ja-asset.co.jp>  
フリーダイヤル: 0120-439-244 (受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

お申込、投資信託説明書 (交付目論見書) のご提供は



## JA海外債券ファンド

## ○主なリスクと手数料

下記の事項は、この投資信託(以下「当ファンド」という。)をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

## &lt;当ファンドに係るリスクについて&gt;

当ファンドは、主に日本を除く世界各国の公社債を実質的な投資対象としますので、海外金利の上昇による組入公社債の価格の下落や、組入公社債の発行会社等の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「金利変動リスク」「為替変動リスク」「信用リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## &lt;当ファンドに係る手数料等について&gt;

◆申込手数料(1口当たり)・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に1.62%(税抜1.50%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

◆換金(解約)手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

ありません。

◆信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.296%(税抜年1.20%)の率を乗じて得た額とします。

◆信託財産留保額(1口当たり)・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.20%の率を乗じて得た額とします。

◆監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.00324%(税抜年0.003%)の率を乗じて得た額とします。

◆その他の費用(\*)

有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引、オプション取引等に要する費用、外国における資産の保管時に要する費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、受託者の立て替えた立替金の利息、資金借り入れを行った場合の借入金利息

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「費用と税金」をご覧ください。

(\*)「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## ○留意事項

■ 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」といいます。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

■ 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。

■ 当ファンドは、公社債などの値動きの生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。

■ 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金(貯金)保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

■ ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。

■ シティ世界国債インデックス(除く日本・当社円換算ベース)は、Citigroup Index LLCが開発した、シティ世界国債インデックス(米ドルベース)をもとに、シティグループ証券株式会社の許諾を得て、当社が独自に円換算したものです。